

広報・教育部門

応募事例名

賑わい創出によるシティプロモーションと次世代への継承
「マンホールサミットinとやま」

応募団体名) 富山市上下水道局

応募事例の概要

- 「マンホール蓋」の魅力を通じ、下水道の潜在的価値を発信する「マンホールサミット」を北陸初開催！
- マンホール蓋開け体験や「かっこいい・かわいい」をテーマに収集したマンホール蓋の展示など、将来の下水道を担う子ども達に興味を持ってもらえるよう内容を充実！
- 人流増加や経済波及効果などを可視化することで、下水道の広報が持つポテンシャルを再認識！

応募事例の内容

下水道の潜在的価値を発信

⇒ まちなかに賑わいが生み出された



デザインマンホールの展示



子どもたちの興味を促す内容を充実

⇒ 下水道への興味・関心を促進



マンホール蓋開け体験

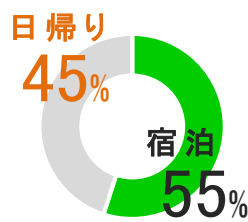
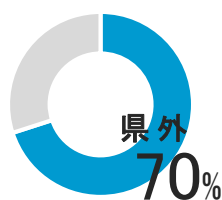


子ども優先レーンの設置

【来場者アンケート結果】

どこからお越しか？

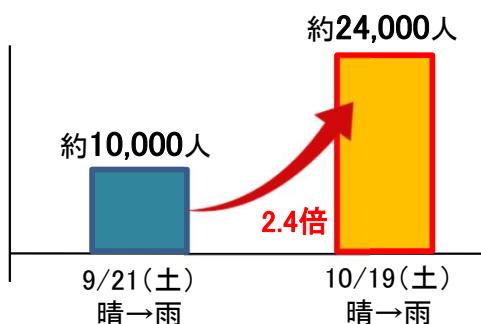
宿泊されますか？



○AIカメラを用いた人流調査結果

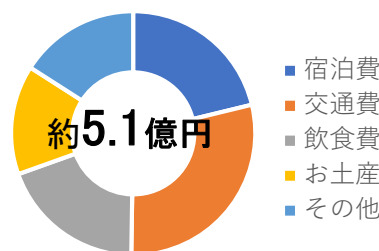
⇒ 2.4倍の人流増加

富山駅周辺の通行人数(10:00~17:00)



○経済波及効果

⇒ 宿泊費等約5.1億円



富山県・総務省資料をもとに算出

PRポイント

- 下水道が持つ潜在的ポテンシャルを本市固有のまちづくりコンテンツにより最大限に引き出した点
- 下水道が持つ可能性(潜在的価値)を人流変動や経済波及効果を用いることで可視化した点
- スマートシティの要素である、AIカメラを用いることで人流の計測を容易に行うことができた点
- 可視化は、他都市においても横展開が容易に可能である点

取組みに関するエピソード

- マンホール蓋の魅力や楽しさを発信するイベント「マンホールサミット」を開催するにあたり、路面電車など公共交通を軸としたウォーカブルでコンパクトなまちづくりを体感してもらえる市の中心部に位置し、市内のマンホール巡りと合わせて都市の魅力も発信できるこの場所を選定した
- 「マンホールサミット」を開催することで、将来を担う子供たちが様々な企画を通じて下水道への興味・関心を持ってもらうとともに、コンパクトなまちづくりの象徴的なこの開催場所に来てもらうことで、本市へのシビックプライドを醸成するきっかけとなるよう、子供たちの目線に立ち、企画内容を検討した

富山市上下水道局下水道課
長澤 仁